

2026 年度（令和 8 年度）入試問題 出題方針

科目名：英語

1. 出題方針

・方針

オーセンティックな英文を用いた問題で、高等学校における英語学習の基礎・基本も含め、高等学校卒業程度の英語力の筆記問題を試す。

・出題範囲

高等学校学習指導要領における「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ＋論理・表現Ⅰ・Ⅱ」に該当する範囲

2. 出題形式（問題数、問題構成など）

記述式 40～45 問程度（問題数の差は配点により対応）

問Ⅰ. 長文問題と英作文

（一定程度の英文を読み、その内容に関する質問への対応。内容に関連した 60～80 語程度の英語自由作文）

問Ⅱ. 語彙、文法・語法（文章中の語句の正しい形の選択、並べ替え）

問Ⅲ. 論理的（文脈における）つながり（対話及び文章中の空欄に入れるものの選択）

問Ⅳ. 文脈理解に基づく要点理解（文脈に沿った意味理解を踏まえた必要な情報の理解）

3. 傾向と対策

- ・前年度の平均点は一日目が 68.2、二日目が 64.0 であり、それまでの平均点の低さからようやく脱却することができた。その一方で、問 2 の並べ替え問題は正答率が非常に低い状態であった。そこで、今年度は前年度の大問構成を踏襲した上で、問 2 の難易度を下げつつ、問 1 の長文問題の難易度を若干上げることで、平均点を 60～65 点程度にするような作問を行っていく。
- ・できる限りオーセンティックな文章を基に、必要に応じてリライトして、その内容を文脈等から理解することを前提に、基礎・基本も含めた総合的な英語力を問う問題とする。